教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画

三重大学では教育学部の他に、人文学部では中学校と高等学校、工学部、生物資源学部においては高等学校の教育職員免許状を取得することができます。

人文学部、工学部、生物資源学部における教職課程（全学教職課程）は、全学資格プログラムセンターのもとに全学教職課程運営部会を設置し、3つの学部が連携して運営を行っています。

全学教職課程は、三重大学のディプロマ・ポリシーである「4つの力」(「感じる力」「考える力」「コミュニケーション力」「生きる力」）に基づいて、以下のような資質・能力を身につけた人材の育成を教育目標に掲げています。

- 学校現場および生徒を取り巻く課題を多面的に認識することができる。
- 幅広い教養と教科・教職に関する専門知識を、授業および教材の構成･工夫、生徒理解、学級運営において有効に活用することができる。
- 生徒および家庭・同僚・地域と効果的に連携を図ることができる。
- 教員としての使命感・責任感を持ち、上記3つの力を総合的に発揮することができる。

以上の目標に基づき、教育職員免許状取得を希望する各学部の学生は、教職科目の履修を進めながら、全学教職課程運営部会や各学部の教職担当教員による指導のもと、「学びのあしあと」を活用した学びの振り返りと学修目標の設定や、年2回の合同ガイダンスを通した学生間の交流を行います。更に、全学教職課程では、各学部の専門性も活かした体系的な教育課程を実施しています。

人文学部においては、教員養成を主目的としていないため将来教職に就く学生は一部にすぎませんが、教員を目指す学生が、一般企業や公務員職を目指す多種多様な学生と切磋琢磨し、自らが専門とする人文社会科学的視点を活かし、地域に軸足を置きつつ、国際的視点を持った人材となるように育成することを特色としています。希望する教員免許状の科目に適した学科・コースで教科及び教科の指導法に関する科目を履修しつつ、合わせて全学から提供される教育の基礎的理解に関する科目を履修することによって、卒業に必要な単位を修得しつつ、無理なく資格が取得できるようにカリキュラムが組まれています。

工学部においては、高等学校（工業）の教員に求められる資質・能力・教養に加え、工学系各分野の詳細な知識をもち工学的な視点から教育ができる人材の育成を目指し、機械工学、電気電子工学、電子情報工学、応用化学、建築学、情報工学などの各コースの特色を生かした専門科目を配置しています。これらの科目は、様々な分野の魅力をいかにして生徒たちに伝えるか、などの教育者としての意識を高めるとともに、特色のある工学部の専門教育の意義と重要性を認識することにも役立ちます。また、通常の座学に加え、学生実験や PBL 教育は、自発的な学習態度を身に付けるための指導方法や高い実践力を持った教員の育成に欠かせないものとなっています。

生物資源学部においては、自然と人類の共存を図り、生物資源の適切な開発と利用を追求する学問を確立し、その基礎的・応用的な科学技術を教授・研究することを通じて、独創性と専門性を兼ね備えた人材養成を教育目標にしています。

全学教職課程が掲げる教育目標に加え、以下の項目をめざします。

・教科についての深い専門知識と技術を背景とし、自然から感じ取り、自ら考えることができる力を涵養する授業が展開できる。

・専門高校においては、地域の農林水産業とそれに関連する産業と連携し、地域を支える人材を育成できる。

上記の目標を達成し、高等学校教諭一種免許状（理科）（農業）（水産）の免許取得が可能となる教育課程となっています。